

令和3年度 河内長野市地域公共交通会議事業変更計画

資料①

(単位：円)

予算科目	事業計画	当初 予算額	補正額	補正後 予算額	河内長野市地域公共交通計画での位置付け	
					基本方針	取り組みの方向性
1運営費 2事務費 1事務費	振込事務手数料、資料、書籍等	5,000	-4,670	330		
2事業費 1事業費 1事業費	企画乗車券PRチラシの広報、配布	49,000	-49,000	0	①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築 ⑤協働による取り組みの推進	①まちづくり、観光等様々な分野との連携 ⑪沿線施設や交通事業者等との連携 ⑫需要喚起のための公共交通情報の提供
	市HPやSNSでの幹線系統のPR (沿線施設やイベント情報の発信強化)				①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	②広域的視点による近隣市や鉄道沿線地域との連携
	自動運転に関する調査研究 (南花台における自動運転実装事業)				①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	③人口減少による公共交通の利用者減少を見据えた、地域に応じた移動手段確保の検討
	生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の策定および事業実施				①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	①まちづくり、観光等様々な分野との連携 ④鉄道・バス・乗合タクシー等の様々な公共交通サービスの連携
	バスロケーションアプリのPR (高齢者を対象とした使い方教室等)				②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	⑤高齢者が利用しやすい公共交通環境の整備による外出の支援 ⑧利用環境向上の取り組みの推進
	運転免許証自主返納者への支援				②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	⑥運転に不安を感じられる方が安心して免許を返納できる交通環境の整備
	アフターコロナを見据えた公共交通網の検討				⑤協働による取り組みの推進	⑩地域の特性とニーズに応じた運行の検討
	次期「地域公共交通計画」策定のための調査				⑤協働による取り組みの推進	⑩地域の特性とニーズに応じた運行の検討
	公共交通不便地域でのニーズに応じた地域主体の公共交通の検討、支援(桐ヶ丘地域、楠ヶ丘地域)				⑤協働による取り組みの推進	⑩地域の特性とニーズに応じた運行の検討 ⑮地域住民や交通事業者等の関係者との協働や連携を推進
	・市広報紙での公共交通特集(年1回) ・市ホームページやSNSでの公共交通情報の発信				⑤協働による取り組みの推進	⑫需要喚起のための公共交通情報の提供 ⑭社会全体で支える意識の醸成
	市民によるコミュニティバス車内アナウンスの実施				⑤協働による取り組みの推進	⑬市民の積極的な参加を促進する働きかけ
	バス乗り方教室の開催				⑤協働による取り組みの推進	⑬市民の積極的な参加を促進する働きかけ ⑮地域住民や交通事業者等の関係者との協働や連携を推進
	路線バス千代田線上限200円運賃の試行の継続	201,000	608,012	809,012	⑤協働による取り組みの推進	⑪沿線施設や交通事業者等との連携
	モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行および日曜日限定同伴者割引の試行の継続	1,336,000	0	1,336,000	⑤協働による取り組みの推進	
小 計		1,591,000	554,342	2,145,342		

3予備費 1予備費 1予備費		1,000	0	1,000	備考：利子収入
----------------------	--	-------	---	-------	---------

総合計 1,592,000 554,342 2,146,342

令和3年度 河内長野市地域公共交通会議補正予算

歳入予算額 2,146,342 円
 歳出予算額 2,146,342 円
 差 額 0 円

1 歳入

(単位：円)

款	項	目	当初予算額	補正額	補正後予算額	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	0	0	0	
2 補助金	1 補助金	1 補助金	1,591,000	554,342	2,145,342	市補助金
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	1,000	0	1,000	預金利子
合 計			1,592,000	554,342	2,146,342	

2 歳出

(単位：円)

款	項	目	当初予算額	補正額	補正後予算額	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	0	0	0	
	2 事務費	1 事務費	5,000	-4,670	330	振込手数料や資料・書籍代等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	1,586,000	559,012	2,145,012	・路線バス千代田線上限200円運賃の試行 ・モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行 および日曜日限定同伴者割引の試行
3 予備費	1 予備費	1 予備費	1,000	0	1,000	
合 計			1,592,000	554,342	2,146,342	

令和4年度 河内長野市地域公共交通会議事業計画

資料②

(単位：円)

予算科目	事業計画	総事業費	うち市補助	河内長野市地域公共交通計画での位置付け	
				基本方針	取り組みの方向性
1運営費 2事務費 1事務費	振込事務手数料、資料、書籍等	5,000	5,000		
2事業費 1事業費 1事業費	地域公共交通計画策定	6,000,000	3,000,000		
	企画乗車券PRチラシの広報、配布	1,609,000	1,609,000	①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築 ③協働による取り組みの推進	①まちづくり、観光等様々な分野との連携 ⑪沿線施設や交通事業者等との連携 ⑫需要喚起のための公共交通情報の提供
	市HPやSNSでの幹線系統のPR (沿線施設やイベント情報の発信強化)			①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	②広域的視点による近隣市や鉄道沿線地域との連携
	自動運転に関する調査研究 (南花台における自動運転実装事業)			①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	③人口減少による公共交通の利用者減少を見据えた、地域に応じた移動手段確保の検討
	生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の策定および事業実施			①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	①まちづくり、観光等様々な分野との連携 ④鉄道・バス・乗合タクシー等の様々な公共交通サービスの連携
	バスロケーションアプリのPR (高齢者を対象とした使い方教室等)			②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	⑤高齢者が利用しやすい公共交通環境の整備による外出の支援 ⑧利用環境向上の取り組みの推進
	運転免許証自主返納者への支援			②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	⑥運転に不安を感じられる方が安心して免許を返納できる交通環境の整備
	アフターコロナを見据えた公共交通網の検討 (石見川・小深・太井・鳩原乗合タクシーの試行運行)			③協働による取り組みの推進	⑩地域の特性とニーズに応じた運行の検討
	公共交通不便地域でのニーズに応じた地域主体の公共交通の検討、支援(桐ヶ丘地域、楠ヶ丘地域)			③協働による取り組みの推進	⑩地域の特性とニーズに応じた運行の検討 ⑮地域住民や交通事業者等の関係者との協働や連携を推進
	・市広報紙での公共交通特集(年1回) ・市ホームページやSNSでの公共交通情報の発信			③協働による取り組みの推進	⑫需要喚起のための公共交通情報の提供 ⑭社会全体で支える意識の醸成
	市民によるコミュニティバス車内アナウンスの実施			③協働による取り組みの推進	⑬市民の積極的な参加を促進する働きかけ
	バス乗り方教室の開催			③協働による取り組みの推進	⑬市民の積極的な参加を促進する働きかけ ⑮地域住民や交通事業者等の関係者との協働や連携を推進
	路線バス千代田線上限200円運賃の試行の継続	202,000	202,000	③協働による取り組みの推進	⑪沿線施設や交通事業者等との連携
	モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行および日曜日限定同伴者割引の試行の継続	1,053,000	1,053,000	③協働による取り組みの推進	⑪沿線施設や交通事業者等との連携
小 計		8,869,000	5,869,000		

3予備費 1予備費 1予備費		1,000		備考：利子収入
----------------------	--	-------	--	---------

総合計

8,870,000

令和4年度 河内長野市地域公共交通会議予算

歳入予算額 8,870,000 円
 歳出予算額 8,870,000 円
 差 額 0 円

1 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算額	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	0	
2 補助金	1 補助金	1 補助金	8,869,000	市補助金 5,869,000 国庫補助金 3,000,000
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	1,000	預金利子
合 計			8,870,000	

2 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算額	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	0	
	2 事務費	1 事務費	5,000	振込手数料や資料・書籍代等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	8,864,000	・路線バス千代田線上限200円運賃の試行 ・モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行 および日曜日限定同伴者割引の試行 ・地域公共交通計画策定 ・石見川・小深・太井・鳩原 地域乗合タクシーの試行
3 予備費	1 予備費	1 予備費	1,000	
合 計			8,870,000	

南花台モビリティ「クルクル」による地域移動支援事業の有償実証実験の延長について

■変更の概要

令和3年6月30日、令和3年9月22日による書面会議にて実施された地域公共交通会議において、南花台モビリティ「クルクル」による地域移動支援事業の有償化につきまして、令和4年6月30日までの実証実験として有償化のご承認をいただきましたが、この実証実験期間について、令和5年3月31日まで延長していただきたく、承認をお願いするものです。

■変更の経緯

当初令和3年6月30日の会議においては、9月1日からの有償運送開始を予定しており、翌年度の会議で実証事業の報告から実装に関する審査をしていただくため、令和4年6月30日までの実証実験として承認をいただいております。その後、承認の前提となりました通達が発出に至らず、許可制による有償化が出来なくなりましたため、9月22日の書面開催において、法第78条第2号に基づく自家用有償旅客運送としての登録制による有償化をご承認いただいたところでございます。

その後、有償化について、申請の事前相談や準備等に時間を要した結果、12月16日から正式に有償運行を開始しましたが、当初予定していた実証期間と比べると期間が短く、また、コロナ収束の目途が見えない事も鑑み、令和4年度において、1年間を通した実証を実施したく、期間の延長についてご承認いただきたいと考えております。

■変更の詳細

変更点：有償化の実証実験期間の変更

現在承認内容・・・令和3年11月1日 から 令和4年6月30日 まで

変更内容・・・令和3年12月16日 から 令和5年3月31日 まで

変更理由・・・有償化の開始が12月16日となったこと、およびコロナ禍により利用者が思うように伸びず、効果検証に必要なサンプル数が少ないことから、令和4年度に1年間を通した実証実験を実施したいため。

■その他

現時点での令和3年度の運行実績をご報告いたします（1月末まで）。※色の濃いセルが有償化開始後の実績

令和3年度											
4月合計	44人	7月合計	61人	10月合計	48人	11月合計	134人	12月合計	162人	1月合計	132人
平均乗車人数	14.7人/日	平均乗車人数	15.3人/日	平均乗車人数	8.0人/日	平均乗車人数	14.9人/日	平均乗車人数	13.5人/日	平均乗車人数	12.0人/日
4月5日	14	7月5日	15	10月11日	6	11月1日	27	12月2日	8	1月6日	7
4月12日	15	7月12日	11	10月14日	7	11月4日	23	12月6日	20	1月7日	11
4月19日	15	7月19日	16	10月18日	12	11月8日	17	12月9日	15	1月10日	12
		7月26日	19	10月21日	6	11月11日	14	12月13日	25	1月11日	4
				10月25日	11	11月15日	12	12月16日	7	1月13日	11
				10月28日	6	11月18日	10	12月17日	11	1月14日	6
						11月22日	7	12月20日	22	1月17日	19
						11月25日	10	12月21日	7	1月20日	11
						11月29日	14	12月23日	10	1月24日	24
								12月24日	12	1月27日	9
								12月27日	17	1月31日	18
								12月28日	8		

上記のとおり、11月から1月にかけて、一日の平均人数は減少しているものの、時期的に気温が低下したこと、オミクロン株の増加による外出控えの影響も鑑みて、有償化により人数が減少しているという有意差は見られないと判断していますが、上述のとおり、サンプルがまだ少なく、1年間を通した有償運送の実証実験を実施することにより、より有意性の高い検証をおこない、改めて公共交通会議に諮らせていただきたいと考えています。

（※令和3年4月～10月までは午前中みの運行）